

此瘡二十四五歳ノ男半時計ニ
大豆粒ノ如ク一身ニ出テ痘ノ
膿ヲ貫キタル時ノ
蠟色ノ如シ悪寒有
テ熱ナレ一身ヒリク
トシテ不覺是痰毒
ナリ仕掛ハ砂糖舌
カウヲ傳テ愈タリ



39-8211

此腫物五十余歳ノ男足
太陽膀胱經承筋ニ出ツ

初發小豆程ニ

常ノ子ブトノ

如クニ生ス此

腫物左ノ眼ニ

筋ヒキツリ中

風ノ如シ先ニ

醫數人替リ



皆中風ト云予中風ニアラス腫物
此經ヲツルト云兩年ノ後療治ス
快氣ヲ得タリ仕掛肉桂丁子油
ヲヌリ上ヨリムス膏藥ハ同方

小兒二三歳又五六歳此証アリ

初ハ子ブトノ如クニ頭ニ出潰テ

ウミ出雪ノ解ル如ク腫物ノ端

ヨリ腐テ死此証三四人

ヲ見ニ初發ヨリ

療治シタル

モアリ又

半途ヨリシ

タルモアリ不治

是胎毒瘡也



如圖大舌兩人ヲ見ニ
不愈無可及療治
腐クサキ事
甚シ



此腫物初發足陽明胃經陷谷

ニ大豆ノ大サ程ニ出ル

潰テ後ヒタト

腐行自然

ト膿血モ

ナク燥キ黒成テ

元氣衰ヘ死ス此証二人ヲ

見ニ不得快氣ヲ別醫ノ語ルモ

同不治也初發熱ナク後ニ熱

甚シ霜雪ニ強クアタリ血燥キ

此証ヲ生スルカ

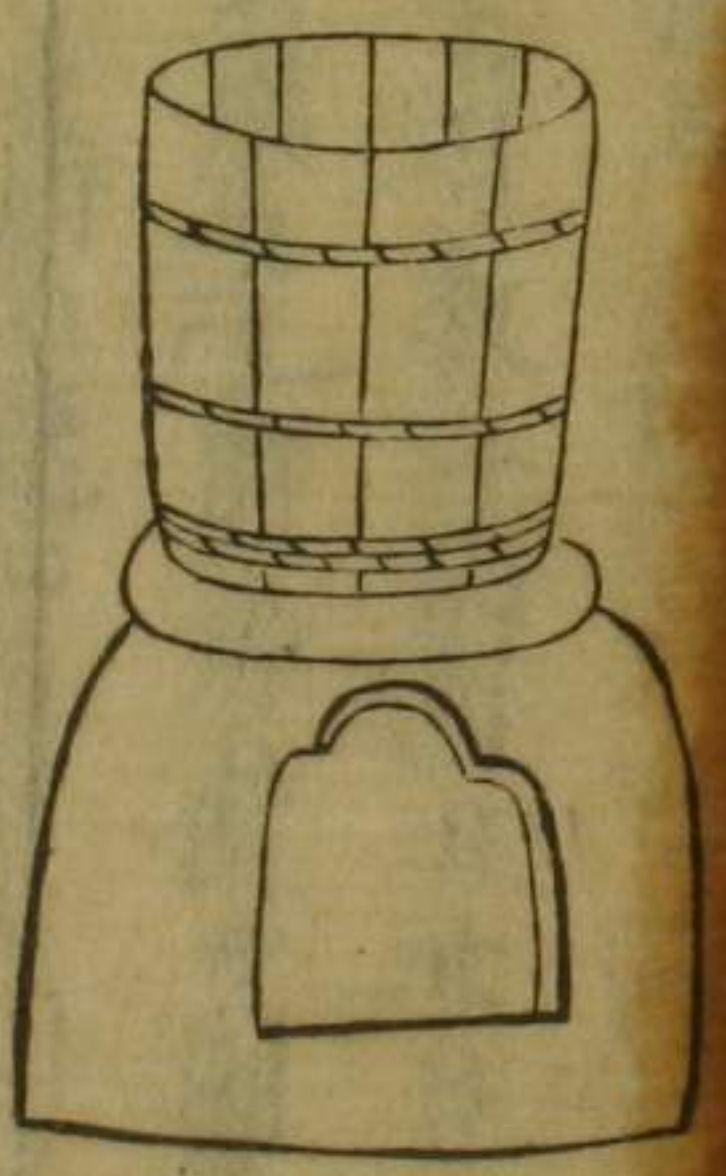


此腫物二十六七歳ノ男足
 太陽膀胱經中瀆ニ出ツ初
 發桃實ノ如シ日数ヲ
 經テ膿自破後
 三寸四方腐リ餘
 肉五分程出痛ム
 更不可忍衆醫
 替リテ後療治
 シ快氣ヲ得タリ
 是瘡毒也仕掛右ニ記ス瘡毒ノ
 療治内藥八四物湯ニ山歸來大
 分一入用



此童子

股ノツ
 ケキハ
 フクジ



カシ一身
 苦ニ肢體
 不覺五ヶ
 月ノ後予瘡治
 仕掛諸艸ニ加
 藥一身ヲ蒸シ
 温メ油ヲヌリ
 膏藥ヲ付テ
 快氣ヲ得タリ
 ムスニコシキノ仕様替ニ因テ記ス



此小兒頭ニ鶏卵ノ大サノ如ク色
 紅ノモノ腫出ル生レテ一七日ナリ予
 針ヲ刺シ血ヲヌキ平愈ス是胎毒
 ナリ膏藥ハ初後ニキヤンカウニ白
 膏加ヘ傳ル



此腫物耳ノ後ニ身色ニ腫テ痛ム
 更甚シ日数十四五日廿日ニ至リ
 テウム膿タル時即針ヲ刺テウ
 ミラヌク時ハ速ニ
 平愈ス
 針ヲ嫌
 人カ強ク
 キル藥ヲ嫌フ人ナレハ
 久シク不愈者也膏藥強吸
 膏藥廻リレメ藥右ニ記ス



此腫物耳ノ後ニ身色ニ腫テ痛ム
 更甚シ日数十四五日廿日ニ至リ
 テウム膿タル時即針ヲ刺テウ
 ミラヌク時ハ速ニ
 平愈ス
 針ヲ嫌
 人カ強ク
 キル藥ヲ嫌フ人ナレハ
 久シク不愈者也膏藥強吸
 膏藥廻リレメ藥右ニ記ス

此男足ノ太陰脾經血海竅ニカ
 タリアリ一年余ニシテツカラ破レ
 表裏ニクサリ透リタリ予瘡治
 シテ愈ユ衆醫ハ瘡毒ト
 云愚案スルニ惡血カタリ
 瘡疾トナル也此症世話
 クハリハスト云仕掛
 白ハシラ水ニ
 テトキ丸ト
 ナシ衣ニシワラ
 フレテ中ニ入ル贅肉流レ
 愈肉生ス膏藥ハ右ニ記スチヤ
 シカウ後ニ赤膏ツクル



此四歳ノ童子頭ニ一兩月瘡出
 テ不愈予頭髮ヲヒラキテ
 見ニ頭一面ニ一分二分程ノ虫生
 ス藥ニテ洗クチハレ黒キ白虫
 出テ五日ニ愈 洗藥



ヨシヒト云木ノ
 葉ヲ煎シ
 アラフ愈ユ
 ヨシヒ或ハ所ニ因テ
 アセボサセフトモ云サレトモ毒
 アリ心得ベシハ亦同前

平愈ノ長血熱也
 亦垂下如一羊ノ餘子瘡也
 三十餘歳ノ眼又

三十余歳ノ男足ノ裏ウラキレ痛
 行歩不叶一年ノ後予療治シテ
 平愈ス是血燥也仕掛右ニ記
 油ヲツケムス右同前



此童女臀腫熱甚ク痛不可忍
 衆醫ハ皆臀癰ト云後ニ予ニ
 是ヲ見スル臀癰ニテハナレ是
 風腫也二十四五日ニ至リ針ヲ
 刺シ膿クサ夥シク出テ
 快氣ヲ得タリ仕掛
 千ヤンカウツケ膿
 出テ後赤膏
 藥ニテ愈



此童女ノ出
 下ニ至リ赤膏
 藥ニテ愈

此腫物二十余歳ノ婦初發齒ヨ
 リ顔ニ至リ痛更甚シ一年ヲ經
 テ後ニ療治ス腮ヨリ口ヲアケテ
 如シ圖骨ヲ出シ快氣ヲ
 得タリ仕掛



右ニ記ニ
 大形
 同前

此腫物四十余歳ノ男初發常
 ノ腫物ノ如ク生シ不痛五年ノ
 後重ク成テ予療治シ平愈ス
 膿ハトコロテシノ如キモノ多ク
 出タリ是ス子ハス



ナリ仕掛
 石ハイ
 ビイトロ
 粉ニテ胡麻餅ノ
 アクニテ煉リ穴ノ中ニ入ル贅肉
 流シ生肉出テ膏藥色々替テ
 愈

此腫物五十歳余ノ男督脉ノ
 通り長強ニ出初發常ノ子フト
 ノ如ク次第ニ大ニ腫五十日余ニ
 色赤ク痛ム事甚シ針ヲ刺ウ
 ニヲ抜又其後



口ニツ
 アキ始
 然ラスキ
 血出テ不止
 子療治シ快氣ヲ得タリ仕掛ハ
 白膏藥下ニツケ上ニ千ヤシカウ
 ヲツケ早クウセハリヲ刺シ
 後愈膏藥右ニ同

此腫物十六七歳ノ男初發風毒
 腫也三年膿血出テ不止痛甚シ衆
 醫皆死セント云後ニ予療治ス口
 ヨリ朽骨見ヘタリ



鋸ニテ引切
 長サ三四
 寸又二三
 寸ノ骨ヲ
 出シ平愈ス仕掛
 千ヤシカウヲ入申ヲ
 タシハンヲ水ニテ勻エ水ツキニテ洗
 腐肉ヲ流シ生肉上ケ膏藥色
 色ツクル

十歳余ノ童子腫物初發大熱
アリ一身痛ツヨクシテ後

大豆粒ノ大サノ如ク

十一顆生ス九ツヨリ

口アキ穴ノワキヨリ

長サ七寸余ノ虫出

予療治シ愈是

風濕也仕掛

白シ小麥粉ニ色

水ニテ解キ引テ

口アキ仕カケ

右同前



十歳ノ童子初メ焼キ焦シタル所

三年マテ不愈

予ニ治ラ請フ

ウニ敷シク

シテ不疔

白ク蚯蚓

ノ如キ物出

色々療治シテ

漸愈仕掛色々替ル

筆ニイトマナシ



此腫物五十余歳ノ婦足心陰
 膽經陽關ニ出ル初發惡寒發
 熱アリ五十日余ニ至テ自破
 膿ワキス腐ワヨク五ヶ月ノ後死
 ス此腫物始ニシルスト同証ナレモ
 少シ替リアルニ依テ
 又記之モノナリ
 始終トモニ身色
 ナリ是モ膿タルヲ
 カシガヘ針ヲ刺シテ
 速ニ膿ヲヌキタラハ
 死セザル也モ可看カ



此腫物二十歳余ノ男便毒也虚
 証ニ成テウミ水ノ如キモノ出テ
 兩年不調後ニ予療治
 シ平愈ス
 仕掛キヤ
 カウツケ後
 洗藥右ニ記ス水
 ツキニテ中ヲ洗テ
 カキ栗ノ粉シワウニ味ヲ水ニテ
 煉リ内ニ入蓋ニキヤン膏スル也



此腫物三十四五歳ノ男督脉ノ左ノ神道ニ出ル身色ニ六七寸程腫十四五日ニウム先醫針ヲ上ニ刺針ノ刺所誤リカ予が了簡針ヲ下ニ刺テ膿ヲ急ニヌキタラハ不死事モ可有上ノ口ヨリハ膿出カ多ク腫物虚ニテ四ヶ月ノ後死ス是陰性ノ腫物如此病人教人見二十人ニ七八人ハ快氣ナレ



此腫物六十余歳ノ男足少陰膽經ニ出初發桃實ノ如ク堅ク身色ニシテ身ヲ苦ム三十日余ニ大ニ腫紫色ニナリ飲食不通初發予療治ス後外治數人替リテ咽セリ死セント云後醫一人ハ可針ト云一人ハ針刺ハ速ニ可死ト云病人死ハ不厭針ヲ好ミシニ針ヲ刺立トコロニ死ス是不治ノ証也



此腫物二十八九歳ノ男初發頭痛甚
一身苦ム事不可忍ト云三年ノ後
予見之先醫術計ヲ盡シ療治スト
イヘ正不調頭破シテ膿不出予頭
ヨリ血ノ變シカタニリタル魚子ノ如ク
ナル物腦蓋ト頭皮トノ
向ニ厚五六分程
腫ノ間ニ悉ク満
タリ是ヲ拔事
一升余此病人ハ此編集ヲ



清書ノ刻半途ナル故終リヲ不記
大抵不治此証頭ヲ度々打其血堅リ不
下如此先醫ハ瘡毒トモ云予ハ不知
何レカ是ナラン事ヲ

此腫物六十余歳ノ男手少陰心經
ニ出タリ身色ニシテ鶏卵ノ大サノ
如シ痛事ナク日數經テ口破外
治數人替ル予モ療治ス又別醫
療治ストイヘ正元氣衰ヘ死ス咳
スレハ腫物ノ口ヨリ
鶏ノヒヨコノ鳴
聲アリ不治ノ
証ニシテ是痰
火塊ヲ作シ咳スル
聲彼レニ響キテ雞雛ノ鳴ニ似タ
者ナラン



此腫物四十余ノ男手少陰心經極
泉ノ穴ニ出初發桃仁ノ大サノ如ク
赤ク腫レ三十日余ニ破レ中ヨリ長
サ一寸余紫色ニシテ指ノ如ク十
儿物出ル予始終



療治シ快
氣ヲ得タリ
是奪疽
ノ類也
仕掛 巴豆ニ乳香 沒藥以入
ヨクスリ合テ縮ノ糸ニヌリ腫物ノ
本ヲ卷キ五日シテ落チ愈ル

此腫物四十余歳ノ男足腫痛
事甚シ外治数人替リテ予
見^レ之^ヲ肉ノ津液ナク
破ル事モナクヒカラビ
枯木ノ黒キカ如シ
屈伸不^レ成シカルヲ
療治シテ快氣ヲ
得タリ是元
氣ノ不足也
仕掛 ハムス藥ニ
テムシ蛭蚓ノ油^ヲ切草ノ油
合テヌリ上ニハチヤン膏ヲ傳



此腫物四十八九歳ノ男兩足
 腫初發熱甚シク三十日余ニ
 赤ク色付如圖々々ニ長ク
 裂ケテ膿出タリ始終予療
 治シテ平愈ス
 是風腫
 也仕掛
 堅キキ
 ヤシ膏藥初後
 傳之



此腫物四十余歳ノ男一身スキ
 通テ腫ル衆醫ハ水腫脹満ト云
 予針ヲ刺水ヲヌキ
 快氣ヲ得タリ
 是脹満ニテハ
 ナレ仕掛強
 押藥付ル
 押藥ノ方 キハタ粉六
 鬱金 中白ハイ中カワフシカキ餅
 粉大右五色水ニテ煉腫ニ傳ス是
 忽押タル也



此腫物四十余歳ノ男長強ノ左一寸脇ヨリ松茸ノ大サナル物出ル莖ノ廻五六寸長サ五寸余横三寸余ナリ藥ヲ付ル時ハ腫物動也予ニ療治ヲ乞ヒ快氣ス先醫酉正月申旬

ヨリ四月廿二日ニテ予四月廿三日ヨリ五月三日ニ右ノ腫物

根ヨリ藥ニテ落シ愈々然ル其跡少堅ミアリ此人云ハ若又ヲコリタラハ如何セン是非此堅ミトリエサセヨト云

予又拔藥ヲ入堅ミトリテ

肉ヲアチ皮ヲツクルニテニ丸病人セキテ有馬ニ湯治セント云予三度留ルニ是非トモト云テ湯治ス元ノ如ニ右ノ腫物開出テ有馬



ヨリ九月ニ歸リテ牀ニ卧明ル年ノ六月申旬ニ死ス是茸ノ類又寿ト云ヒ空町通サニ幸町上ルニ文字屋手代スル人也 枚丸藥ノ方 松粉 白ハイ 各等分 丹少アクニテ丸ス但此丸 即時丸ニテ少干テサス也口傳

此癪四十余歳ノ男

督脉ノ通り大小五ツ

出ル予初發終リ凡ニ療治

快氣ス衆醫ハ死セント云仕掛此病人余

針ヲ挿ニヨリ膏藥拔丸ニテ調フ種々

口傳筆ニイトナシ 丸藥ノ方 青木

葉 天南星 陰干各 等分 白ハイ 蕎麥粉 水ニテ煉サス膏

藥黄色始終加減穿摘ノ法アリ



此症六十余歳ノ男三里ノ下シタ
ルク不覺又ハ痛事年久シキト也
或時甚シク一身苦シミ痛先醫辞
退ノ後予療治ス三日ニ足

赤ク毒血ヨリタルニヨリ
針ヲ刺血ヲ小茶碗一ツ
程抜ソレヨリ療治
替テ死ス
此人年久
シク血不通



シテ痰毒トナルサレハ予ガ針ヲ刺
タルヲ誤ト云人アリヤ死血出サスハ
外治如何セン療治ノ元ヲ知センタマニ
記スモノナリ

此腫物二十五六歳ノ婦懐妊七ケ
月後腹大ニ腫一身

苦シミ一息ヲ
快クスル
更不成
十日余ニ



シテ臍ノ上ニ腫物出
其ヨリ口マキ髪ノ毛出其跡ヨ
リ死妊ノ子ノ頭亦ハ體忽腐
爛シ出六十日ニ快氣ス此外治
別醫ナレ氏替リタルニヨリ記ス

此腫物四十余歳ノ男督脉ノ陽門ノ竅ニ出
一周歳ノ余ニ愈其跡小穴

有テ不調此穴ニ

紙ヨリヲ

サスサシテ

拔キ下ニ食飯十二粒ツ

出ル更年久シ三四年

後予見之或

久ク多ク飲食胃ニ

入テ不消化偏道ニ出ルハ初生ノ腫物ニテ

胃ノ腑損シ如右カト云リ愚按スルニ胃ノ

腑傷損シテ穀物消化セズハ豈ヨク命ヲ

保シヤ紙ヨリヲサ、ガル時ハ米粒不出別

ノ竅ナシ小穴ヲ破リ新シクシテ縫合セ金



瘡ノ療治ニシタラハ平愈スニト云然レ氏
病家不肯之後ニ調不調不知
之カハリ丸形狀ナレハ記之而已

痔疾煩人多シ

紅毛ノ醫傳タル

者美食スルニ有

胃ノ腑ニア、ル油

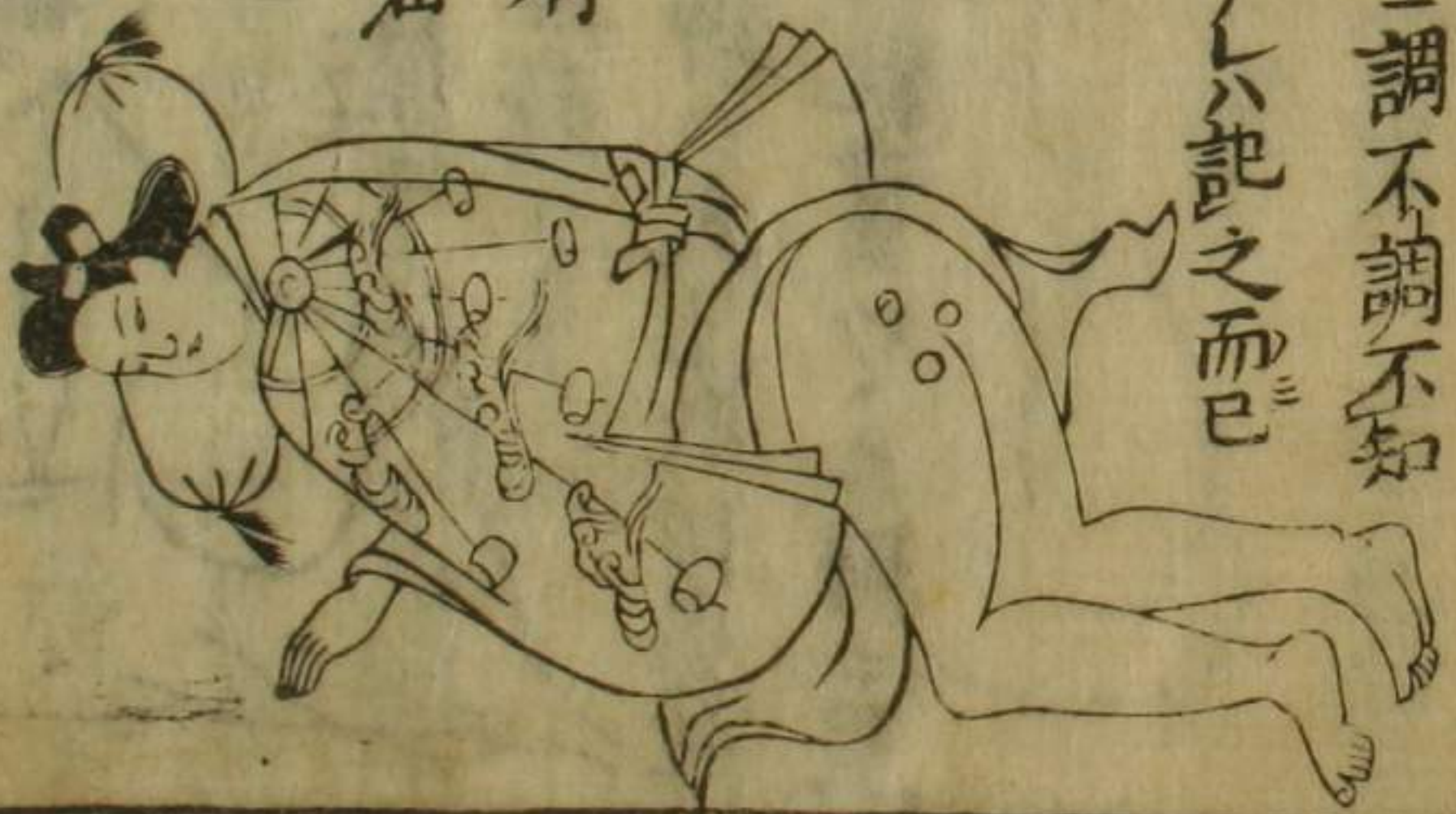
ノシタ、リト云此

設不斷鹿食ス

ル時ハ痛スクナシ此療治色々アリ

拔藥ニテ根ヲ拔トル第一也併拔藥

強シ請ル疾人ナシ痛ヲ止事專也



此男頭ニ疽出ルタトヘテ云ニ千ヨク
 ヲ見ルカ如シ中深ク色紫ニシテ
 臭事甚也一年過テ予ニ療治ヲ
 乞フ切藥ヲ
 掛廻ノ努ヲ
 肉ヲ切トル
 三ヶ月ニ至リ僅ニ
 愈然凡平愈殘アリ
 少シ油断スル時ハ大ニ成切藥傳
 トキハ少ニナル此書ワル時ニ至
 ルニテ不調



六十余歳ノ男ワツカノ堅ミ出テ兩
 年ノ後少ツ、大ニ成テ痛色赤ク
 ナル先醫灸ヲ大分ニ
 スルト云ソレヨリ
 ロアキ中ニハ
 大天目一ツ入
 程ニ穴アリテノシド、
 一ツニ通ス外科ニ三人替テ後療
 治ヲ乞十日余療治スル無程死
 ル也是則結核ノ類ナリ初醫灸
 ラスルト云如何吉カアレキカ



五十余歳ノ男身柱ノ經ニ桐子ノ程ニ堅キ
 丸キ物出テ痛更ナシ様々療治スルニ隨テ
 彌大ニ十九後ハ本ハ小ク先ハ一尺廻程ニ
 ナリ腐リ色黑ク臭事甚クシテ時々
 血出外療数人

替テ予ニ

療治ヲ

乞フ即チ

療治ス初發ハ糸ニ



藥ヲ付卷テ切ル後大分ワ切上ルニ跡
 ヨリ又ハ出ク安堵ヲ不得此書ヅル砌
 ナレハ終ヲ記サス膏藥ハシワウ膏ヲ傳
 ルナリ別醫ハ癭トモイ臣予ハ不知疽ノ類
 カ分明セス此腫物ノ中ヨリ寸程ノ虫一出色赤

三十余歳ノ男痔出年数

七ケ年ニナル久シク療治

スルニ不得^ニ驗後ニ

予ニ療治ヲ乞フ

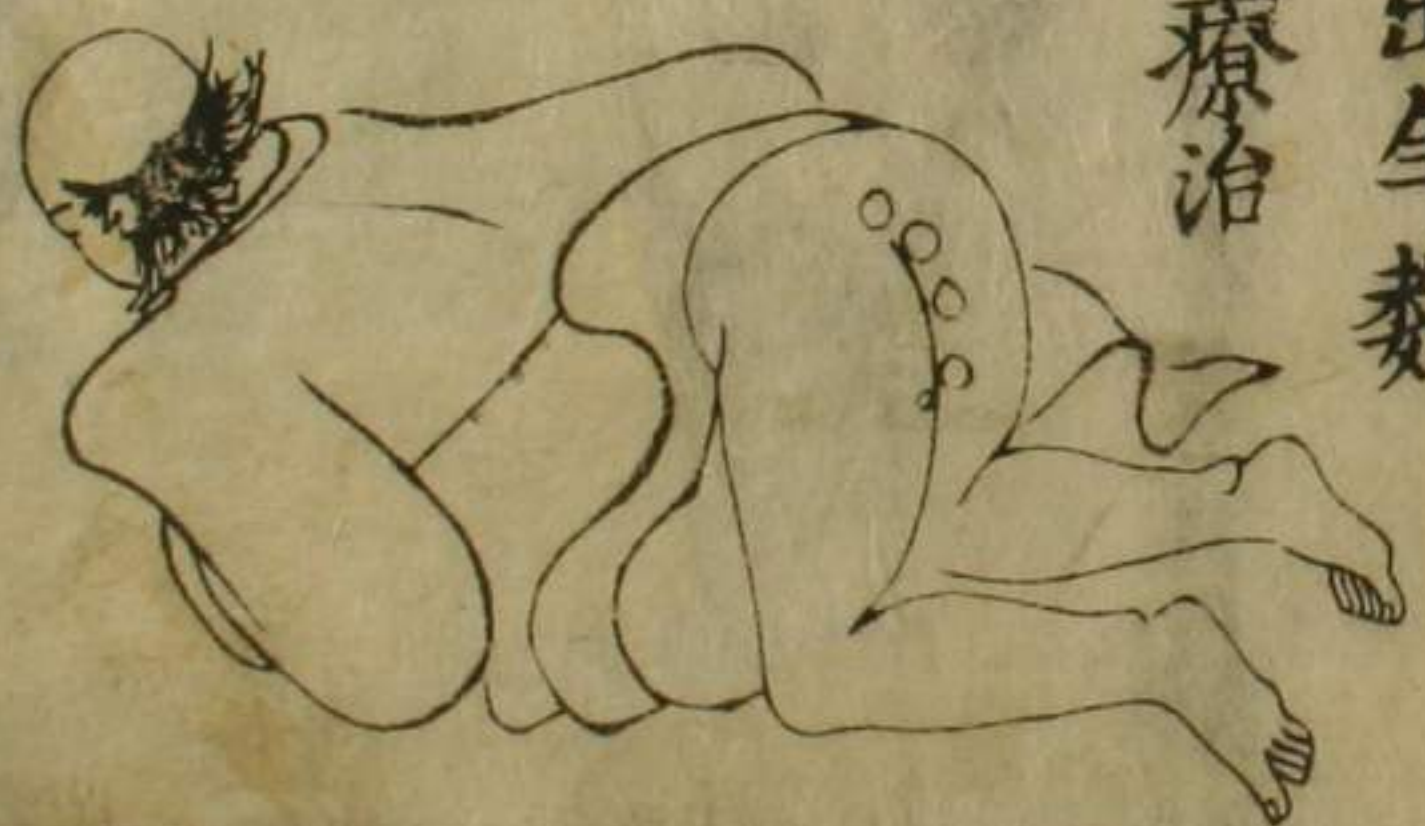
六ケ月療治シテ

漸ク快氣ス痔瘻

ハムワカレキモノ也

外科ノ難代カ此

症大勢見ル



二十六七歳ノ婦人眉ノ上又手ノ
 カウニ鳥ノカイコ程ノ瘰出三ヶ
 年ノ間色々療治ス快氣ヲ不得
 後予ニ療治ヲ乞フ五十余日膏
 藥ヲ付右ノ瘰不レ殘散セ引スル
 京都ニテ
 男女ニヨ
 ラス五六
 人療治ス一人モ滞ル
 更ナク快氣スル瘰ハ
 針ヲ刺ニモ口傳アリアレクスル時ハ
 却テ害ニナル也



此婦人鼠^カ同^カ廿日程ニ至リ雉ヲ食ス
 忽ニ腫痛惡寒發熱シテ後大熱
 有テ煩フ先醫
 兩人替リ
 テ予ニ療
 治ヲ乞テ快氣ヲ
 得タリ夕上ハ鼠ニ同タル
 者百日ヨリ中ニ鱸^スヲ食スル
 時ハ忽ニ腫出テ危急ノ症ニ變ス心
 得ヘキ事也



此男前ノ年六月ノ比小刀ヲ取落シ此足陽明
 胃經ニ立血大分出テ留ル翌年ノ正月一類ノ
 所ニ振舞ニ至リ雉ヲ食ス右ノ疵ノ口瘡ヲ爪
 ニテカク血走ル更ニ間半程ノ向ノ屏風ニ飛
 當リヨリ内外ノ諸醫數千人
 來リテ術巧ヲ奮奮シ血ヲ
 止ルトニラス晝ノ八ツ
 ヨリ血走同七ツ半死
 スル也有時瘡毒ヲ煩
 人ヲ療治ス大形平愈
 レテ又發リ透ト愈事ナレ然ルニヨリテ
 湯治ヲ進ム湯治ス三七日ニ至リ平愈ス湯治ヨリ立
 朝亭主ヨリ鱸到來スモハヤ平愈ス上ハ苦シ方之
 上テ料理シ食スシヨリ亦發リテ一年ヲ經テモ愈



ヘスタ六壁ヲ塗テ土ノ乾ナルニ水ヲ澆ル時其壁
 崩ル多キテハ何程水ヲカケル庄崩ル事十
 キカ如シ食毒ノ禍ハ大槩生命ニ害アリ恐
 慎トシテ手更ナリ



此二十四五歳ノ
 男二十歳計ニ
 大熱譫語有テ煩ヒ醫數多
 替テ快氣ヲ得タリ其後廻ニ寸程ノ丸ニ
 シテ青筋首ヲ卷キ熱發時ハ首ヲシ
 ム常ニハ障ナレ亦二三年過テ癩ヨク
 アル時ハ首ヲシムル不断ハ少ノ筋計見元
 色々療治ストイハ斥不得快氣後
 不知

此二十五六歳ノ男フラクト煩ヒ重
 病トナル然ルニ病人寢タル兩脇ニ大
 十九百足ニツ宛アリ
 看病人トリ捨止
 少寝ル時ニ又
 ニツアリ幾度
 モ如此病
 名不知死
 シタル時右
 ノ百足ナレ
 此人十八歳ノ
 時分ヨリ胸ニ天目
 程ノ腫物出常ニ動ク死期十日程以前
 ニ件ノ腫物スキトナレ



此癰疽大指弩肉ヲアフテ痛也
 先療教醫替リテ予ニ療治ヲニ
 予サクリミテサカレ見ニ
 穴アリソレニ
 糸ヲ通レ
 クリ一夜
 置翌日弩肉切レテ
 中見ユル本指火ニモ
 腐ラス上ハ弩肉也ソロクト切トリ
 快氣スル也此症下疳ニ多シ治法
 同前也



此耳病六十余歳ノ男左ノ耳ノ中
ヨリ魚肉ノ腐タル如ク十九物廻
程ノ丸ヲ出ル臭事甚也先醫替
リテ予ニ療治ヲ乞フ効ナレ又療
治替リ日数七十日余ニ至リ死ス
此人氣強勢ヲハル初耳ヨリ紅
如キノ血大分出テ
後如此
是血ノ逆
上スル故也
是ヲ耳茸ト云ナラシカ
後ニ外科百効全書ヲ看ルニ此ヲ耳
柱子風ト云トアリ外療内藥等ヲ
載タリ



此腫物二十ニテ男風毒腫煩ニ
年膿出臭シ所々ニテ療治スト
云予ニ療治ヲ乞フ中ヲサクリ
ニテ見ルニ骨腐穴アリ上ノ肉ヲ
腐クスリニテ流トリ口ヲ廣メ
腐タル骨ヲ鉢ニテ
切取中ヲ洗
其アトニ黄
膏藥ニテレメン
テイナヲ加煉テ穴ニ入三十余
日療治シテ平愈ス



此童子生下三十日余ニ至元ニ胞
 衣不落臍モ腐リ穴フカクナリ
 痛甚ト見タリ予ニ療治ヲ乞
 先胞衣ヲ寒水石ソハノ粉イタ
 ラ貝三色粉ニシテ油ニテ
 煉傳一夜ニ
 胞衣落ル
 其アトニ



愈膏藥傳

十日愈ニ愈

肥州長崎産洛陽寓居中村宗興著

貞享元歲甲子菊月吉日

京二条通御幸町西八町

山本長兵衛板



任

